

『児童ボーン（正親子どもまつり）』で、 防災まちづくりの取組をPRしました！

8月26日（土）の『児童ボーン（正親子どもまつり）』での防災まちづくりコーナーでは、たくさん子どもたちに参加して頂き、「紙工作（紙ぶるるくん）」や「ろじマチ まちがいさがし」などを通して、耐震や防災まちづくりの大切さについて楽しみながら学んでもらうことができました！

ご参加頂いた
みなさま、ありがとう
ございました。

今後も、すぐに取り組む具体的な対策を進めるとともに、「区民運動会」や「総合防災訓練」などの様々な機会でご意見を頂きながら、地域みなさんと一緒に「防災まちづくり」の取組を進めていきます。引き続き、ご協力よろしくお願いします！

防災まちづくりコーナーの様子



紙工作（紙ぶるるくん）

自分で作り、揺らしてみることによって、地震に弱い建物の特徴を実験しながら楽しく理解できるペーパークラフト教材です！



たくさん子どもたちに、楽しみながら「防災」の大切さを伝えることができました！



ろじマチ まちがいさがし

イラストの中で、災害が起きた時に危険な箇所に対してどのような対策ができるのかを間違い探しを通して考えていただきました！



『まち』と『コミュニティ』に関する主なご意見を紹介します！

『まち』
について

方針 8 安全な避難場所をつくる

- ・安全な避難場所が近所がないので、安全な避難場所がほしい。
- ・なかなか防災ひろばなどの延焼防止に役立つ空間はつくれないが、大切。
- ・スーパードームなどの安全な大型店舗と、避難に関する協定を結べるとよい。
- ・お年寄りが多く、小学校が避難所だと遠い。



方針 9 身近な地域の防災環境を整える

- ・地域の集合場所を地域で共有しておくことで、いざという時に対応できる。
- ・地域の集合場所の看板があると良い。
- ・マンション住民には、管理会社等がルールを作って対応してほしい。
- ・身近な地域の防災環境の整備については、できることから対策していきたい。
- ・町内で防災ベル等を整備するとともに、メンテナンスも怠らないことが大切。

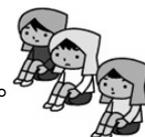


方針 10 路地の雰囲気将来に繋ぐ 路地単位の計画づくりを進める

- ・路地を大切に保全・再生する取組を検討していきたい。

方針 11 地域の防災力を高める

- ・防災意識が低いので、継続して防災に取り組んでいくことが大切。
- ・ご近所の方や防火バケツの場所、避難経路について把握しておく。
- ・今後は災害時の安否確認、避難のルールや体制を整えていきたい。
- ・「防災」の取組に、もっと町内からの参加を呼びかけたい。



方針 12 コミュニケーションを充実する

- ・日頃から一人暮らしの高齢者とコミュニケーションを大切にする。
- ・アパート等との交流がなく、マンションは特にコミュニケーションが問題。
- ・町内会への加入を促す情報発信などを京都市からも継続的に行ってほしい。
- ・若者はいざという時に力になるため、若者とのコミュニケーションも大事。



方針 13 防災まちづくりの体制を整える

- ・町内会長や防災部長は毎年代わるため、引継ぎが不十分。町内の防災リーダーをどう育成していくかが重要。
- ・お寺などに「防災まちづくり」に協力してもらえるとよい。
- ・商店会等と連携して、耐震や防火に関する回覧等ができるとうよい。
- ・ファミリーマートと緊急物資の提供や住民の避難等の協定を考えたい。



『コミュニティ』
について

10月8日（土）『区民運動会』で「防災まちづくり」の取組をPR!!

10月8日（土）に正親小学校にて開催される『区民運動会』で、「防災まちづくり」のPRとともに、今年度に策定する「防災まちづくり計画」に関して、みなさんからご意見をいただきたいと思っておりますので、ご協力よろしく申し上げます！

